

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リッケ ラボ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2025/2/20		～	2025/3/20
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 名	(回答者数)	3 名
○従業者評価実施期間	2025/2/20		～	2025/3/20
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 名	(回答者数)	5 名
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/31			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こどもの活動等のスペースが十分に確保されており、 室外へ出ると土あそびや植物を育てる環境がある。	・室内では、児童1人ひとりが自分のペースで活動できるスペースを確保している。 ・屋外でも体を動かすことができるスペースを十分に確保し、ボール遊びや土遊びなどのびのび活動することができるよう配慮している。	・今後も児童に合わせた活動スペース活用の工夫に 取り組み、ニーズと安全性を考慮しながら児童が心地よく過ごすことができる空間を提供する。
2	・個人情報の取扱いについては、十分に留意している。	・児童の情報が外部に漏れないよう研修などを通して徹底している。	・今後も個人情報に関しては、スタッフで声を掛け合いながら、適宜研修なども設け、管理を徹底していく。
3	・こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を提供している。	・児一人ひとりに合わせた言葉かけを行い、信頼関係の構築に努め日々の支援の充実を図っている。アセスメントで得た情報は職員全体で共有し、統一した支援が提供できるよう常に連携し配慮に努めている。	・より専門性を高めるために今いる職員の質の向上に加え、新たな職員の専門性も追加し、常にアップデートしていく。 ・統一した支援を図りつつ、一人ひとりの実態を踏まえ自立を手助けできるようなサポートを行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援	・令和6年度は家族会を開催することができなかった。	・令和7年度に家族会を開始できるよう、持ち方を工夫した計画を立て調整を進めていく。
2	・定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対しての発信	・行事予定や活動の概要に関して、利用予定表やHPを用いて保護者へ発信をしている。SNSなどの別の方法での発信ができていない現状である。	・令和7年度からSNS（インスタグラム）を通して発信する予定。また、利用予定表に関しては継続して用いる予定。
3	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	・保育園や幼稚園への送迎はあったが、交流する機会、一緒に活動する機会は設けることができなかった。	・送迎の際に情報交換をし、地域の保育園、こども園との関わり、交流ができるよう努める。また、交流ができた際には適宜保護者へ発信をしていく。